

東北地方 3か月予報

(4月から6月までの天候見通し)

平成25年3月25日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

4月 東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

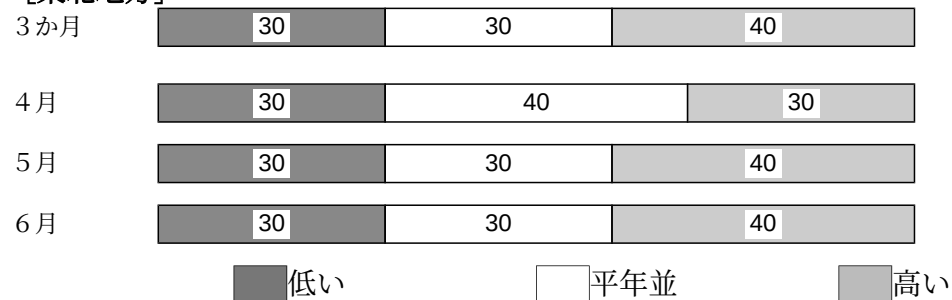
5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

6月 前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

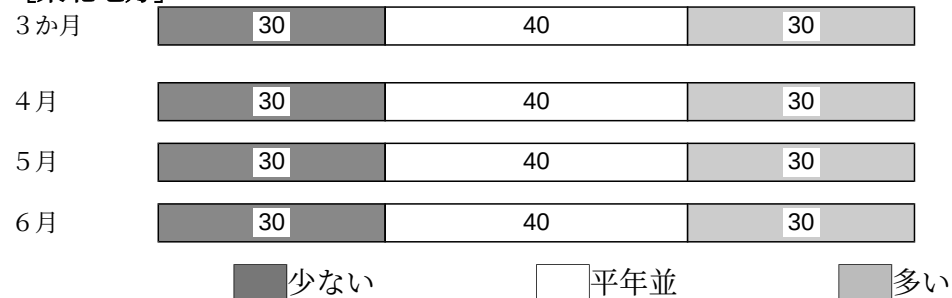
<<気温>>

[東北地方]



<<降水量>>

[東北地方]



<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月29日

3か月予報：4月25日(木) 14時

4月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用下さい。

最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月25日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温(℃)				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	4月	5月	6月	4月～6月	4月	5月	6月	4月～6月	4月	5月	6月	4月～6月
青森	8.3	13.3	17.2	12.9	63.4	80.6	75.6	219.6	182.3	201.0	179.6	562.9
深浦	8.5	13.2	17.3	13.0	87.1	116.1	88.9	292.2	173.0	191.2	182.5	546.6
むつ	7.4	12.1	15.7	11.7	80.7	98.7	99.3	278.7	188.5	195.0	162.5	545.9
八戸	8.5	13.1	16.2	12.6	64.3	89.3	105.8	259.4	188.9	197.0	167.7	553.6
秋田	9.6	14.6	19.2	14.4	112.8	122.8	117.7	353.2	170.4	182.0	176.2	528.6
盛岡	8.6	14.0	18.3	13.6	87.5	102.7	110.1	300.3	173.7	185.4	154.7	513.8
大船渡	9.2	13.7	17.4	13.4	142.8	145.2	172.9	460.9	173.0	180.3	147.3	500.6
宮古	8.7	13.0	16.0	12.6	100.6	93.9	116.4	310.8	189.3	181.2	149.4	519.8
仙台	10.3	15.0	18.5	14.6	97.6	109.9	145.6	353.1	188.5	185.2	133.8	507.6
石巻	9.4	14.0	17.7	13.7	93.2	92.3	113.9	299.3	191.3	193.2	149.9	534.3
山形	10.1	15.7	19.8	15.2	68.4	75.4	110.5	254.3	176.1	191.5	158.8	526.4
新庄	8.5	14.4	18.9	13.9	96.3	104.7	127.2	328.3	156.4	170.4	156.0	482.0
酒田	10.2	15.3	19.6	15.0	102.4	121.4	120.7	344.4	172.4	191.2	178.6	542.2
福島	11.5	16.6	20.1	16.1	81.0	92.6	122.1	295.7	186.4	187.5	136.6	510.5
若松	10.0	15.7	20.1	15.3	64.3	80.0	110.8	255.1	172.7	193.6	161.9	528.1
白河	10.0	15.0	18.6	14.5	96.4	121.2	150.3	367.9	182.6	177.6	126.2	486.4
小名浜	11.3	15.2	18.4	14.9	125.3	142.0	148.7	416.0	188.8	188.6	142.1	519.5

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が毎月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	4月	5月	6月	4月～6月
気温平年差(℃)	東北地方	-0.4～+0.5	-0.3～+0.5	-0.6～+0.5	-0.2～+0.4
	東北日本海側	-0.4～+0.3	-0.1～+0.4	-0.5～+0.5	-0.2～+0.3
	東北太平洋側	-0.2～+0.5	-0.4～+0.6	-0.5～+0.5	-0.2～+0.4
降水量平年比(%)	東北地方	88～115	86～117	85～113	89～109
	東北日本海側	89～115	83～109	77～110	91～108
	東北太平洋側	81～118	83～115	90～110	94～110
日照時間平年比(%)	東北地方	94～106	95～104	96～107	96～103
	東北日本海側	94～107	96～102	95～106	95～104
	東北太平洋側	95～105	95～105	97～108	96～102

（３）接近する台風の平年値

	4月	5月	6月
東北地方	0.0	0.0	0.1

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（4～6月）

平成25年3月25日 仙台管区气象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

4～6月	
4月	
5月	
6月	

2. 暖候期予報の見直しについて

最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月25日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

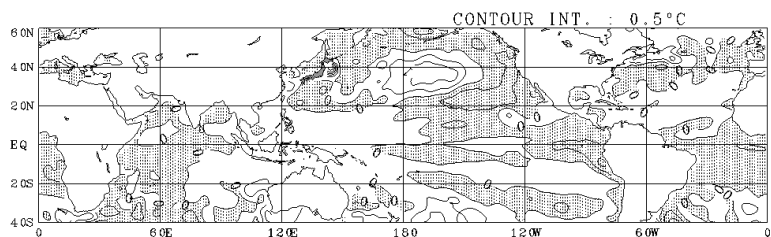
3. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、インド洋西部熱帯域で負偏差、インド洋東部からフィリピンの東で正偏差の予想。東部太平洋赤道域は負偏差だが、春の間にこの傾向は弱まり、ラニーニャ現象の発生に至らない可能性が大きい。

対流活動(図略)は、海面水温が平年より高いインド洋東部からフィリピンの東にかけて平年より活発となる。このため、亜熱帯ジェット気流はユーラシア大陸で平年よりやや北寄りを流れる。

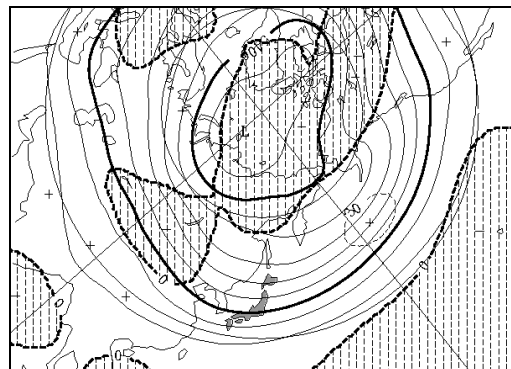
500hPa 高度(中図)は、近年の温暖化傾向で北半球中緯度対流圏の気温が高いことや、亜熱帯ジェット気流が平年よりやや北寄りを流れることに対応して、日本付近は広く正偏差となる。日本の東の太平洋高気圧は平年より北側の位置でやや強いため、東から高気圧が張り出す影響で北日本へは南から暖気が流れ込みやすい。

東北地方の気温は5月から6月にかけてやや高い傾向、降水量は4月から6月にかけて平年並の見込み。なお、前回の予報で5月は平年より南東の風が吹きやすいと見込んだが、今回その傾向は弱くなったため、東北太平洋側でやや多雨の傾向を平年並と変更した。



3か月平均の海面水温偏差の予想図

等値線間隔は0.5°C。陰影部は負偏差。



3か月平均の500hPa 高度と偏差の予想図

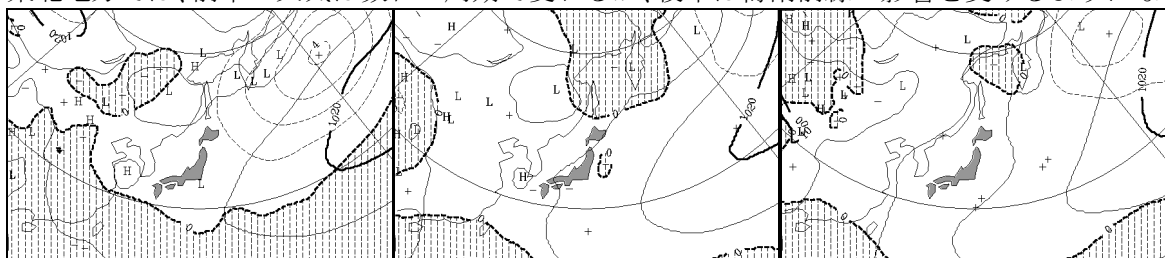
実線は高度(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想(下図)

4月: 日本付近は広く正偏差となるが偏差は小さい。日本付近の等圧線の間隔は広い予想。高気圧と低気圧が交互に通る、東北地方の天気は数日の周期で変わる。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

5月: 日本付近は広く正偏差となるが偏差は小さい。4月と同様に日本付近の等圧線の間隔は広い予想。高気圧と低気圧が交互に通る、東北地方の天気は数日の周期で変わる見込み。

6月: 日本付近は広く正偏差となる。日本の東には梅雨前線に相当する等圧線のくびれが現れる。東北地方では、前半の天気は数日の周期で変わるが、後半は梅雨前線の影響を受けるようになる。



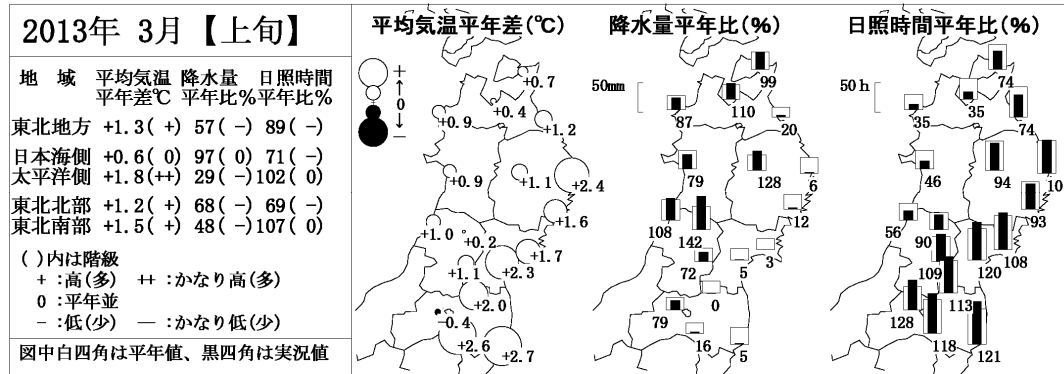
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から4月、5月、6月。実線は海面気圧(間隔4hPa)、点線は偏差(間隔1hPa)。陰影部は負偏差。

4. 最近の天候経過

3月上旬: 期間のはじめと終わりは前線や低気圧が通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。期間の中頃は南から高気圧に覆われた。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。期間の後半に暖気が流入したため東北太平洋側の気温はかなり高かった。2日から3日にかけてと10日は発達した低気圧の影響で、東北日本海側を中心に大雪の所があった。また、日最大風速は2日に八戸で3月の極値を、10日に白河で年間の極値を更新した。8日は前線が通過し東北日本海側を中心に大雨の所があった。

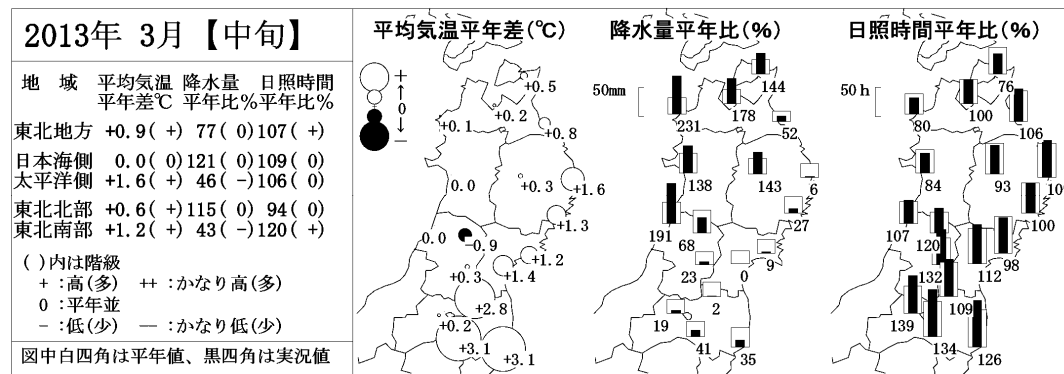
平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。



3月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

3月中旬: この期間、短い周期で前線と高気圧が交互に通過した。天気は短い周期で変わり、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。11日と16日は冬型の気圧配置となり青森県と山形県で大雪の所があった。13日と18日は前線が通過し、13日は東北日本海側で、18日は東北北部で大雨の所があった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。

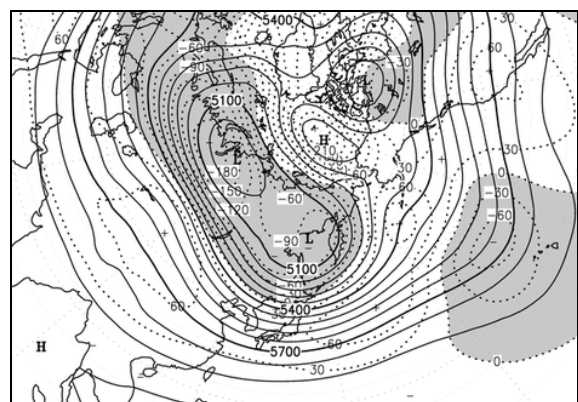


3月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

5. 今月の循環場の特徴

3月(20日まで): 500hPa 高度は、シベリアからオホーツク海にかけて負偏差、その南のユーラシア大陸から日本の東にかけて正偏差となった。日本付近では南北の気温差が大きく、偏西風が強かった。低気圧は日本付近を短い周期で通過し、北日本を発達しながら通過したものもあった。

東北日本海側は、低気圧や前線の影響を受けやすく、寒暖の変動があった。東北太平洋側は、たびたび南から高気圧に覆われたこと、寒冷前線通過前の暖気の流入が強かったことから上旬を中心に気温はかなり高くなった。



3月1日～20日の平均500hPa 高度

実線は高度(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 30m)。陰影部は負偏差。

<参考資料> 平年の天気出現日数(日)

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
4月	17.2	9.4	16.0	11.3	16.6	10.5	18.0	8.0	16.6	9.1	18.2	7.4
5月	17.4	9.7	16.1	11.0	16.3	10.3	16.2	9.0	16.9	9.0	16.6	8.1
6月	14.7	8.2	14.7	9.9	13.0	9.3	11.3	10.7	13.2	9.7	11.3	10.3

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。